

完了後の評価個表

整理番号 20-1

事業名	森林居住環境整備事業	都道府県	大分県
地区名	岳滅鬼	事業実施主体	大分県
関係市町村	日田市、中津市	管理主体	日田市、中津市
事業実施期間	H14～H19（6年間）	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>① 位置等 日田市及び中津市山国町は大分県の北西部に位置し、本路線は、その日田市側の県道日田宝珠山線を起点とし、中津市山国町の市道轟線に至る、既設県道・市道・林道を連結した森林基幹道である。</p> <p>② 森林の状況 当地区の利用区域面積2811haのうち78%をスギ・ヒノキの人工林が占め、豊富な森林資源を有しており、この地域を含む一帯は日田林業として全国的にも有名な林業地でもある。</p> <p>③ 当地区を整備する目的・意義 当路線の利用区域内は、日田スギで呼称されるように、豊富な森林資源を活用した有数の林業・木材産業地域となっており、今後も更に充実した木材供給基地づくりを目指している。それに伴い木材生産機能を発揮する森林が多く、今後素材生産の大幅な増加が期待できるが、近年の森林・林業を取り巻く情勢は厳しいものとなっている。このような条件の下で安定した素材供給が見込める当地域を有効に活用するためには、適切な森林管理と林業経営の基盤である森林基幹道の整備が不可欠である。</p> <p>(事業概要) ・森林基幹道整備 岳滅鬼線 車道幅員4.00m 開設延長24,035m 利用区域面積2,811ha ・総事業費 1,151,800千円 (当初事業費 2,330,400千円)</p>
----------	---

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平25年度時点における費用対効果分析結果は以下のとおりである。 森林基幹道整備における計画の見直し（道整備交付金等への移行）による総事業費及び総費用の減少や、費用対効果分析手法の見直しにより総便益が減少した。</p> <table border="0"> <tr> <td>総便益（B）</td> <td>3,274,181千円</td> <td>（事業採択時</td> <td>3,466,792千円）</td> </tr> <tr> <td>総費用（C）</td> <td>2,006,676千円</td> <td>（事業採択時</td> <td>2,196,129千円）</td> </tr> <tr> <td>分析結果（B/C）</td> <td>1.63</td> <td>（事業採択時</td> <td>1.58）</td> </tr> </table>	総便益（B）	3,274,181千円	（事業採択時	3,466,792千円）	総費用（C）	2,006,676千円	（事業採択時	2,196,129千円）	分析結果（B/C）	1.63	（事業採択時	1.58）
総便益（B）	3,274,181千円	（事業採択時	3,466,792千円）										
総費用（C）	2,006,676千円	（事業採択時	2,196,129千円）										
分析結果（B/C）	1.63	（事業採択時	1.58）										

② 事業効果の発現状況	<p>森林基幹道整備により、開設前は既設公道から利用区域内森林の中心部まで約1600mを歩行（片道2時間以上）していたのに対して、自動車での到達が可能となるなど森林へのアクセスが容易となった。 また、本路線の開設により利用区域内の植栽や間伐等の保育作業が適正に行われ、水源かん養機能や土砂流出防止機能等の公益的機能の発揮にも寄与している。</p>
-------------	---

③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>当事業により開設された森林基幹道は、日田市・中津市が定めた林道維持管理規程に基づき管理されている。 また、地元住民により、適宜草刈や側溝掃除等が行われており、維持管理状況はおおむね良好である。</p>
---------------------	---

④ 事業実施による環境の変化	<p>森林基幹道整備により、森林へのアクセスが容易になったため、林業従事者の労働条件が改善され、森林整備の促進が図られた。 それに伴い適切な森林整備が実施されたため、林内の明るい単層林や複層林、針広混交林が整備され、森林の景観が向上し、生物多様性も保たれている。 森林基幹道整備による景観の変化や野生動植物の生息・生育環境の悪化、渓流水の流量の減少などの影響は見受けられない。</p>
----------------	--

⑤ 社会経済情勢の変化	<p>林業労働の軽減、森林施業コストの低減が図られ、森林施業の実施面積が開設前と比べ増加してきたことから、将来の木材供給源としての期待がより一層高まってきている。 森林整備が行われる一方、本林道を通じて山菜採取やハイキング等に森林を利用する地元住民が開設後増加しており、森林に対する理解が深まりつつある。</p>
-------------	--

<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>森林施業の実施に対する意欲が徐々に増進されてきているが、木材価格の低迷等により間伐等の実施状況が十分とは言えない状況であることから、森林所有者に対する森林施業実施の普及啓発等を行い、積極的な森林施業の実施を促進する必要がある。</p> <p>・ 地元の意見： 森林整備事業実施による土砂流出の防止、水源かん養機能等の公益的機能の高度発揮に寄与している。(大分県) 森林基幹道整備後は、沿線の小溪流等への散策に訪れる者が増加してきているとともに、森林災害等の早期発見に寄与している。(日田市・中津市)</p>
<p>評価結果</p>	<p>・ 必要性： 森林基幹道と県道、市道を連絡することにより、地域交通の利便性を向上させ、山村地域の生活環境の改善に資すること。 事業実施後は、土砂流出の防止、水源かん養機能等の公益的機能の高度発揮に寄与するなど、当事業の効果が発揮されていること。 森林の整備及び基盤となる路網の整備が総合的に実施されていること。 以上のことから、事業の必要性が認められる。</p> <p>・ 効率性： 森林基幹道整備にあたっては、伐開によって生じた支障木等を可能な限り現地で有効利用するとともに、地形に沿った線形を選定することによる切土量の抑制や現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法を実施することによりコスト縮減が図られたことから、事業の効率性が認められる。</p> <p>・ 有効性： 森林基幹道整備により、森林へのアクセスが容易になり、森林整備を実施するコストも縮減されることから、今後も森林整備・木材搬出量の増加が見込まれていること。 森林整備事業量の増加から、林業労務の場所の供給を促していること。 森林整備事業の実施により、森林の景観が向上してきていること。 以上のことから、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

事業名：森林居住環境整備事業

都道府県名：大分県

地域(地区)名：^{がくめき}岳減鬼

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	79,751	
	木材利用増進便益	101,713	
	木材生産確保・増進便益	106,470	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	27,671	
	森林管理等経費縮減便益	572	
	森林整備促進便益	2,958,004	
総 便 益 (B)		3,274,181	
総 費 用 (C)		2,006,676	
費用便益比	$B \div C = \frac{3,274,181}{2,006,676} = 1.63$		

位置図 森林基幹道 岳滅鬼線

中津市山国町



終点

市道 轟線

槻木地区

国道496号

中津市

日田市

県道 宝珠山日田線

利用区域面積 2,811ha

森林整備実績

全体計画延長
24,034.7m

国道212号

起点

日田市

